

水産海洋地域研究集会

第13回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える
— 海域の生産性と水産資源 —

日 時：2017年11月25日(土) 13:00~17:30

場 所：名古屋大学 工学部3号館 321教室

共 催：一般社団法人水産海洋学会，愛知県水産試験場，三重県水産研究所

後 援：愛知県漁業協同組合連合会，三重県漁業協同組合連合会

コンピーナー：中村元彦，蒲原 聡（愛知水試），日比野 学（愛知県農林水産部水産課）
清水康弘，羽生和弘，国分秀樹（三重水研）

総合司会：日比野 学（愛知県農林水産部水産課）

挨拶：大関芳沖（一般社団法人水産海洋学会長） 13:00~13:10

趣旨説明：中村元彦（愛知水試） 13:10~13:20

- 【テーマ1】 海域の生産性と水産資源 座 長：羽生和弘（三重水研）
1. 伊勢湾における水質と二枚貝資源の長期変動 13:20~13:45
国分秀樹（三重水研）
 2. 三河湾のアサリ、ノリ生産量と水質の変動 13:45~14:10
松村貴晴（愛知水試）
 3. 浮魚類にみられる伊勢湾の豊かさ 14:10~14:35
岡田 誠（三重水研）
 4. シャコ、サルエビ等の底魚資源の変化と貧酸素水塊及び生産性との関係 14:35~15:00
下村友季子・荒木克哉（愛知水試）
- 休 憩 — 15:00~15:15
- 【テーマ2】 海洋環境と生産性 座 長：蒲原 聡（愛知水試）
5. 衛星データによるクロロフィル濃度の変動と河川流量 15:15~15:40
林 正能（(株)サイエンスアンドテクノロジー）
 6. 河川流入及び渥美外海の海況が内湾の生産性に与える影響 15:40~16:05
中村元彦（愛知水試）・大古田達也（愛知県水産業振興基金）
 7. 貧酸素水塊及び生産性の変化と物質循環 16:05~16:30
黒田伸郎（愛知水試）
- 【総合討論】 課題と対策 座 長：中村元彦（愛知水試） 16:30~17:30

開催趣旨：大阪湾を含む瀬戸内海東部海域では1990年頃から流入負荷削減によると考えられる無機態窒素濃度の低下がみられ、それに伴う生産性の低下がノリやアサリなどの漁業生産の減少を引き起こしている指摘されている。一方、伊勢・三河湾では、大規模に発生する夏季の貧酸素水塊が注目され、栄養塩濃度の低下に伴う生産性の低下が漁業生産に与える影響については十分な検討がなされていない。近年、マイワシのように増加している魚種があるものの、年間1万トンを超える漁獲を継続していた三河湾のアサリは2014年以降大きく減少し、2016年には3400トンまで落ち込んだ。また、イカナゴは2016年に続いて2017年も初期資源が少ないため禁漁になってしまい、漁業者の間でもこれらの現象と栄養塩濃度の低下に伴う生産性の低下との関係を危惧する声が聞かれる。そこで、今回の研究集会では、水産資源に生じている変化を海域の生産性との関係に注目して整理し、課題を抽出するとともに今後取り組むべき方策を展望する。